

れいわに思う

会長 関根弘之 (23回)

桜の葉が出始める頃、マスコミから取材依頼が「麗和サッカーラブ」のメールにありました。新元号「令和」の発表を受けてのことでした。どうやら、HPで検索してヒットしたようです。「読みは同じでも字が違うが、それを承知しているのあれば応じる」と返信したところ、未だに返事はありません。その頃、麗和会館の同窓会事務局は電話が鳴りっぱなしだったそうです。HPに電話番号を掲載せず安堵しました。

令和が持つことばの意味については、識者が解説しているのでそちらに任せるとして、夢と希望を育みながら新しい時代に向き合っていきたいと気持ちを新たにしました。

我が「麗和」の「麗」は角が生えた牡鹿を表した文字だそうです。その姿もうるわしいのですが、角は毎年生え替わるので「再生」や、二本の角が競争するように伸びながら対象の姿になるので「調和」という意味も感じられます。失敗にくじけず、win-winを目指せということでしょうか。内容により時間と労力が必要ですが、再生が可能となる環境も大切です。現役もなかなか良い結果が出ませんが、焦らず地道に努力を重ねていけばよい結果が待っているでしょう。

さて、浦高(当時は浦中)サッカー部が1923年に創部され、2023年には100周年の大きな節目を迎えます。今回で最終を迎える菅野さん(高1)の寄稿文の中にも触れられていますが、埼玉師範をはじめとするライバルとしのぎを削りながら、埼玉や日本のサッカーを牽引してきました。また、日本代表チームが世界に通用するチームに育つ背景にあるコーチング制度や、W-cupで主審を務めるようになった審判員の育成も先輩たちによる基盤作りの成果の一つと言えます。

そこで、100周年にあたり相応しい企画を準備したいと思います。まずは75年史(1992年)から25年間の記録の整理になりますが、その他のことについてはこれからになります。多くの方に参加していただいで進めていきたいと考えていますので、何かの形でお手伝いをお願いした場合には、快く引き受けてください。

4月21日に麗和の理事会に出席しました。理事の推薦母体に部のOB会が加わったことを契機に理事となりましたが、今まで日程が折り合わず今回が初めてでした。冒頭の小島克也校長のあいさつの中で、「グラウンドを人工芝に」という話がありました。内容は現場で指導しているサッカー部とラグビー部の顧問が校長室に直談判に来たというレベルの話ではありますが、実現の難易度はともかくやってみるのも面白そうだという空気が感じられました。OB会としても出来るだけ協力は惜しまないということを校長先生に伝えましたので、皆さんもよろしくをお願いします。

令和とともに新たな目標が明確になりました。物心両面での皆さんのご協力をお待ちしています。

なお、会報は年間3回の発行で速報性に欠けていますので、HPに新しい情報を掲載していきます。現役情報もできるだけ掲載しますので、是非ご覧になって下さい。「麗和サッカーラブ」で検索できます。

令和元年度 総会

1. 日時 令和元年6月9日(日)
2. スケジュール
 - 11:45 集合
 - 12:00 若手OB vs 一年生
 - 13:15 ベテランOB紅白戦(一女OG参加)
 - 14:30 通常総会(麗和会館2F会議室)
 - <審議事項>
 - (1)平成30年度 事業・決算報告
 - (2)令和元年度 事業・予算(案)
 - <報告事項>
 - (1)現役報告
 - (2)その他
 - 15:00 懇親会

会場はもちろん
浦和高校です

2019年初蹴り会1月6日(日)



2019年3月17日(日)

3年生送別会およびOB会入会式が行われ、71回31名が入会しました。



FCれいわ

本年度はさいたま市民リーグ二部にいます。ご支援のほど宜しくお願い致します。

2019年3月19日

第一節 vs尾間木SC@三浦G 2-1

第二節 vs朝鮮蹴球団@荒川総合G 4-0
(得点者:松浦×3、鈴木)

<スタメン>

GK岩下 RSB小田 CB本田 CB西

LSB山下 MF門井 MF出浦 MF篠原

RWG佐藤 LWG鈴木 CF松浦

開幕から二連勝となりました。

現役情報

サッカー部監督 高51回 本田 哲也

新年度がスタートしました。まず、冬の新人戦以降の大会結果について報告いたします。新人戦では数年ぶりに南部支部で5位に入り、関東大会県予選出場を決めました。関東予選では初戦で敗れてしまいましたが、総体支部予選では、しっかり勝ち切り県大会出場を果たしております。以下、対戦結果となっております。

- ・新人戦南部支部予選（1月20日～）
2回戦 vs川口東 2-0 3回戦 vs川口青陵 3-2
4回戦 vs大宮南 1-4 5位決定戦 vs川口市立 3-2
- ・浦和カップ（4月2日～5日）予選リーグ1分2敗、4位
- ・関東大会予選（4月13日～）1回戦 vs本庄東 2-4
- ・総体支部予選（5月3日～）2回戦 vs浦和工業 5-0
5月5日 代表決定戦 vs上尾南 1-0



代表決定戦

現在、U18南部支部リーグも始まっております。浦高サッカー部OB会HP、県サッカー協会HPに日程及び結果が掲載されますのでご覧ください。

4月に1年生が23名入部し、2年35名、3年25名 計83名の部員での活動となりました。昨年同様、トップチーム（支部2部リーグ）を本田、セカンドチーム（支部3部リーグ）を谷先生、1年生を矢野先生が担当します。さらに昨年度末からスペシャルアドバイザーとして、OBで元サッカー部監督の星野隆之先生に水曜と金曜、試合の日にお越しいただきご指導していただいております。また、GKコーチとして私の同級生の横山和彦氏にもご協力いただいているところです。様々な方々にサッカー部を支援して頂き、活動の充実を図れていることを感謝しております。

リーグ戦と並行して、インターハイ県予選が5月28日に抽選会、6月8日（土）から開催されます。上記同様にHPに掲載されます。諸先輩方におかれましては、お時間がありましたらご指導いただければ幸いです。

語り継ぎたい先輩の足跡(4) 高1 菅野一郎

私が浦和中学校に入学して接した先輩方は温和で優しく、後輩には変に先輩ぶらない方が多かったように記憶しているが、当時の浦和中学校蹴球部選手(第45・46・47回生)の多くは同様であったものの、その一方で、「売られた喧嘩は買う」といった気概のある選手もいたようで、5年生のIさん、Uさんに加えて4年生のKさんなどは、相手の態度にびくともせず立ち向かっていたのである。4年生のKさんは学業優秀であると同時に度胸も腕力もあり、当時の浦和の不良少年から一目置かれていたというエピソードがある頼もしい先輩だったので、浦中選手の前頭に立って相手に迫る勢いであった。私は両者がとっくみあいの喧嘩になるのではないかと心配して見守るしか無かったのである。然し、後輩への懇切丁寧な指導助言で尊敬されていた5年生のKさんが「K、止める!」と制止したので、その場は納まったのであった。

現代では殴る、蹴るなどの行為は暴力行為として禁止されているが、当時の中学生に限らず男の世界では「鉄拳制裁」などという行為が堂々で行われていた風潮があったので、蹴球という身体接触のある競技においては、屢々トラブルが発生していたのである。現に私自身も試合後に相手から脅された経験がある。

今にして思えば、昭和18年に行われたあの浦和中学校対私立埼玉中学校の試合は、現代の日韓戦、日朝戦であったように思われ、先輩方の一歩も引かなかった闘争心に敬意を表するばかりである。今でもあの激闘という言葉が相応しい試合を想起すると、土のグラウンドを疾駆する選手のシューズが発する摩擦音、シュートされたボールが木製のゴールを叩く音、激しくぶつかり合う選手同士の間から洩れるうめき声等が蘇るのである。

戦後の翌年かまたその翌年の頃、旧制浦和中学校第49回生で編成されたチームが同校と対戦した際には、14対0のスコアで一蹴してしまったことがあったが、それは相手に旧朝鮮出身の選手が既に帰国していなかったことに併せて、私が1年生当時に目撃した埼玉中学校選手と睨み合いで相手に立ち向かったK先輩が観戦していたからであった。僅差の勝利では雷を落とされることを、私たちは熟知していたからである。

☆4回にわたり掲載させていただいた原稿もこれで最後になりました。ありがとうございました。
この文章はHPに掲載します。



- 社会人1口5,000円 学生(浪人生を含む)1口2,000円
- 郵便振込 ⇒ 同封の振込用紙をご利用ください。(振込手数料当会負担)
- 銀行振込 ⇒ 埼玉りそな銀行 さいたま新都心支店 普通 0273349

麗和サッカークラブ(レイワサッカークラブ)

※振込手数料は、ご負担ください。

※必ず卒業回あるいは卒業年度を振込人前に記載してください。(例)31回 田口智雄

※埼玉りそな銀行・りそな銀行にて口座を作成してインターネットバンキングにて上記埼玉りそな銀行口座に振込の場合は、手数料無料で銀行に行かなくても振込手続きできます。

*まだ会費未納入の方は、納入をお願いします。毎年度予算目標達成に大変苦勞しております。社会人の方は、できる限り2口以上の会費納入へのご協力を何卒宜しくお願いします。

転居等により会報送付先の住所が変更になる場合には、右記の担当者にてメールにてお知らせください。

幹事長：田口 智雄

共有メール：reiwasc1923@yahoo.co.jp